

58

みんなのかんきょう



-Contents-

特 集	2~4
環境ふくい県民活動推進大会 開催!	
私達の活動紹介	5
月夜見の池保存会(越前市)	
日本山岳会福井支部	
全国植樹祭2009ふくいについて 6	
各種お知らせ・環境クイズ等 7~8	



環境ふくい推進協議会

写真: 桜(永平寺町松岡)

特集

「環境ふくい県民運動推進大会」開催!

はじめに

「環境ふくい県民運動推進大会」が、去る2月17日、福井市のアオツサ8階県民ホールで、会場の定員を超える約600人の県民の皆様の参加を得て、盛大に開催されました。

また、大会に先立つて、環境や経済、農林漁業などの様々な分野の団体と行政が一体となって組織する「環境ふくい県民会議」が設立され、今後、環境に関する施策を総合的に推進していくことが確認されました。



る施策を体系化し、実施していくことにしていきます。

これらの施策を着実に実施して、福井の環境を守り育てていくためには、何よりも県民による行動が不可欠です。そして、多くの県民が共働して環境活動に取り組むことにより、新たな県民運動という形となつて展開されていくことが期待されています。

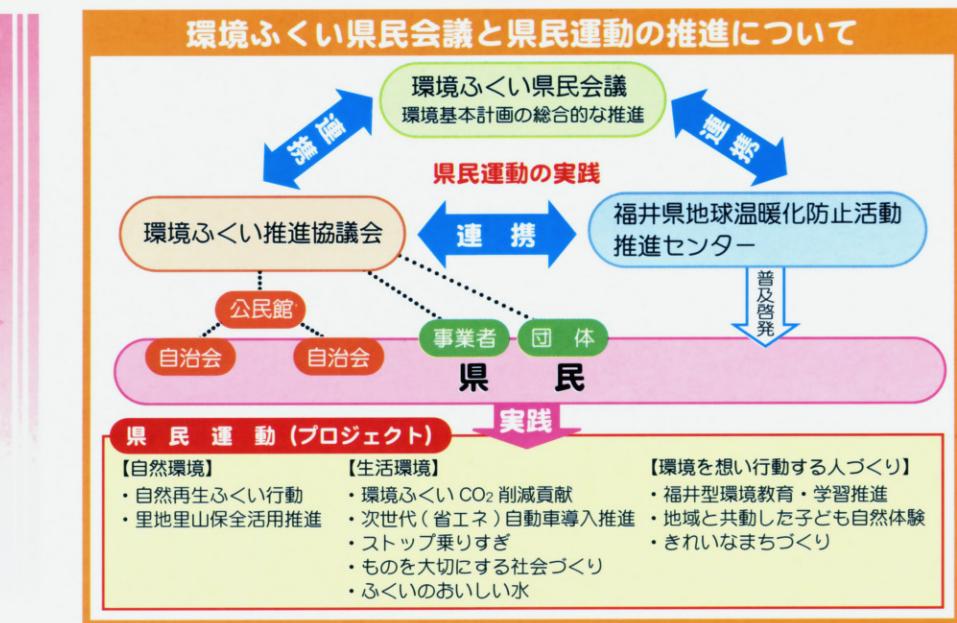
計画においては、この県民運動が大きく輪を広げ、県民の誰もが環境活動に参加し実行することができるようになることが重要であるとして、具体的な施策を「自然再生ふくい行動」や「環境ふくいCO₂削減貢献」、「地域と共に活動した子ども自然体験」などの10のプロジェクトとしてまとめています。

さらに、「環境ふくい県民会議」を設置して、様々な分野からの知恵と行動力を結集させ、その相乗効果を発揮させることにより、新たな県民運動が地域づくりや地域の環境問題の解決に向けた取り組みへと展開されるよう、計画に盛り込まれた環境施策を総合的に推進していくことにしています。

昨年11月に策定された県の新しい環境基本計画では、「県民の手で守り育てる美しい福井の環境」を基本目標として掲げ、「自然環境」、「生活環境」、「環境を想い行動する人づくり」の3つの視点ごとに、早急に対応すべき課題に対する

推進宣言で心をひとつに

「環境ふくい県民運動推進大会」では、はじめに、西川一誠福井県知事から「これから環境対策で最も重要なことは、県民一人ひとりが環境保全活動に積極的に参加し、行動に移していくこと」として、福井の環境は、今を生きる私た



ちが責任を持つて未

来の子どもたちに引

き継ぐべき重要な財

産であり、本日の大

会は、この美しい福

井の環境を県民みん

なの手で守り育てて

いくための出発点。

皆様には、県民運動

にご参加いただき、

この県民運動を大き

く育てていただきたい。」とあいさつがありま

した。

つづいて、来賓として出席された、元環境事務次官で、現在、社会福祉法人恩賜財団済生会の炭谷茂理事長および福井県議会の一瀬明宏副議長から祝辞をいただきました。

今回の環境基本計画策定にあたって多くの助言をいただいた炭谷理事長はこの計画について、「おそらく全国的に見ても、このように野心的で挑戦的な内容が含まれている計画は他に見たことがない。たぶん、

福井県は全国一環境への取組みが進んだ県、環境水準の一番高い県なことは間違いない



いだろ。」と感想を述べられました。

その後、大会事務局から「環境ふくい県民運動」の推進体制について説明があり、大会に先立つて設立された「環境ふくい県民会議」の委員の皆様にステージに登壇いただき、お一人ひとりの紹介がなされました。

県民会議	団体区分	所属団体等	役職	氏名
顧問		社会福祉法人恩賜財団済生会(元環境事務次官)	理事長	炭谷 茂
会長	行政	福井県	知事	西川一誠
委員	"	福井県市長会	会長	東村新一
"	"	福井県町村会	会長	杉本博文
"	"	福井県教育委員会	委員長	禿 了滉
"	経済団体	福井県商工会議所連合会	会頭	江守幹男
"	"	福井県商工会連合会	会長	川上正男
"	"	福井県中小企業団体中央会	会長	増永矩明 (環境ふくい推進協議会会長)
"	農業団体	福井県農業協同組合中央会	会長	山田俊臣
"	林業団体	福井県森林組合連合会	会長	関 孝治
"	漁業団体	福井県漁業協同組合連合会	会長	高橋 治
"	"	福井県内水面漁業協同組合連合会	会長	堂前武司
"	建設団体	福井県建設業連合会	会長	海邊康男
"	運輸団体	福井県自動車会議所	会長	藤尾繁郎
"	婦人団体	福井県連合婦人会	会長	吉田多輝子
"	自治会	福井県公民館連合会	会長	木村 健
"	"	福井県自治会連合会	会長	加畠一三
"	教育団体	福井県P.T.A連合会	会長	木村正俊
"	"	福井県高等学校P.T.A連合会	会長	村田博宣
"	環境	福井県環境審議会	会長	服部 勇
"	自然保護団体	福井県自然観察指導員の会	会長	北川博正

(平成21年2月17日現在)

つづいて、福井県商工会議所連合会の江守幹男会頭のリードで、「環境ふくい県民運動推進宣言」を、会場の参加者全員が一斉に唱和しました。

この「環境ふくい県民運動推進宣言」は、県民自らが率先して省資源・省エネ型ライフスタイルに改めるとともに、多様な生物がぎわう豊かな自然の保全活用に向けた活動が多く福井の美しい環境を次の世代に確実に引き継ぐことを目指すものです。

イルに改めるとともに、多様な生物がぎわう豊かな自然の保全活用に向けた活動が多く福井の美しい環境を次の世代に確実に引き継ぐことを目指すものです。



環境ふくい県民運動推進宣言

福井県は、古来から、多くの生物でぎわう自然の恵み豊かな暮らしを維持してきました。

本県の暮らしの質をさらに高め、ふるさと福井に自信と誇りをもって暮らすためには、基盤となっている福井の環境をより豊かなものとし、次の世代に引き継ぐことが大切です。

このため、「県民の手で守り育てる美しい福井の環境」を県民みんなの行動目標として、環境ふくい県民会議のもと、多様な生物がぎわう豊かな自然の保全活用と省資源・省エネ型ライフスタイルを県民総ぐるみで進める「環境ふくい県民運動」の推進をここに宣言します。

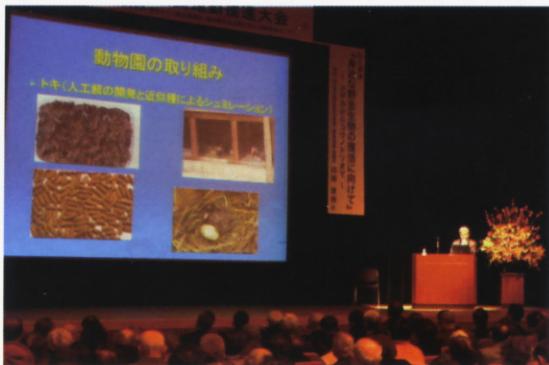
平成21年2月17日
環境ふくい県民会議

記念講演

宣言の後には、東京の恩賜上野動物園の田畠直樹副園長による記念講演が行われました。

田畠氏は、福井市で生まれ、高校を卒業するまで同市で過ごされました。昭和52年に東京都

職員となられてからは、一貫して、東京都の井の頭自然文化園や多摩動物公園、上野動物園などの動物園に勤務されており、コウノトリや佐渡のトキ復活に向けた人工繁殖にも携わられています。



コウノトリは、かつて福井県にも生息しており、県鳥に指定されたこともあります。水田環境に深く関わりのある鳥でしたが、高度経済成長期の農薬の大量散布などが原因で、日本の野生種は絶滅してしまいました。現在、福井市、越前市、小浜市の4つの地区において、コウノトリが再び舞い降りるふるさとづくりを目指して取組みを進めています。このことも踏まえ、「身近な野生生物の復活に向けて～メダカからコウノトリまで～」をテーマにご講演いただきました。

はじめに、子どもの頃、まだメダカやホタルをどこでも観ることができる福井の自然を体感している同氏が、母校での教育実習で教材として使うアメリカザリガニを探したとき、アメリカザリガニはもともと日本に分布していない「外来種」で環境の変化に適

応力があり、比較的汚れた水にも強いとされる

にも関わらず、民家の池でようやく一匹見つけたことにショックを受けたこと。また、一方

で、平成19年に帰省したときには、一時見られなくなっていたホタルが復活していたことに感激したことなどを話されました。

つづいて、今、世界で絶滅の恐れがある動物の種数について、両生類の割合が最も高く、種の30%が絶滅の危機に瀕しており、その減少の原因として、



- ①生息地の開発
- ②農薬や化学物質による水の汚染
- ③外来種による捕食圧の増大
- ④気候変動による乾燥砂漠化や高温化
- ⑤ペットや食糧としての過剰な乱獲
- ⑥伝染病（エルツボカビ症）の発生

が考えられることが紹介されました。

また、地域の自然環境を守り育てるためには、コウノトリを自然再生の象徴的な旗振り役となるフラツグシップ種とする効果的であること。そして、生き物を呼び戻すために、私たちはできることとして、

①水と水辺（田んぼ）を大切に

- ②水を涵養する森（里山）を大切に
- ③身近にいる動植物のことをもっと知ろう

の3つをポイントとしてあげられました。

今回の講演テーマは、県民運動として進めようとしている10のプロジェクトのうち、自然環境の視点から進める自然再生ふくい行動および里地里山保全活用推進の両プロジェクトを進める上でたいへん参考になるものでした。

環境ふくい推進協議会のこれから

推進大会は、これから県民運動の推進に向けた機運を大いに盛り上げることとなる大会になりました。

今後、県民運動を実践していくうえで、「環境ふくい推進協議会」は、中心的組織となり、担うべき役割は、これまで以上に大きくなっています。協議会事務局では、個人、企業および団体の各会員の皆様をはじめ、多くの県民の皆様に、県民運動に参加していただけるよう、ホームページでプロジェクトごとに皆様の環境活動が見えるような形でマップ化するなど、具体的でわかりやすい仕組みを作りたいと考えておりますので、皆様のご参加とご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。



私達の活動紹介



月夜見の池保存会



月皇の郷、八ツ杉千年の森を源流とする水辺の里には、継体大王にまつわる伝承が語り継がれている月夜見の池と、月読命尊の社殿があります。他にも、千年の森を仰ぐ八ツ杉や大滝権現の大杉など、この地で先人が築き継承してきた自然、歴史、文化は郷土の宝です。

このたび、継体大王千五百年記念事業として、地元有志と高橋家親族のみなさんのご協力で、郷土遺産として池と史跡碑の再現ができました。天正2年（1574年）の高橋家の古文書や県神社史によれば、月夜見の池は仲秋の名月が池に映る美しい月影が二つに見えるため、味真野に鎮座されていた継体大王が馬車を連ね、多くの供を従えて観月されたということです。また、轟井（越前市）の地は、継体大王の第八姫、広媛の皇子、うさぎのねうじ 兎皇子が84歳まで住んでいたといわれています。高橋氏は、養老2年（718年）に月夜命尊の社殿をこの地に創建、奉納しました。また、中世期には、京極氏、浅井氏の重臣となり、その親族である今井氏、島氏は滋賀近江の国人として全盛を誇りました。



私たちは、深い歴史が残る郷土の素晴らしい自然、歴史、文化を未来の子孫に継承するため、月皇の郷の河川と水辺の復元に努めました。平成17年の水害後は土木事務所に請願依頼をして、河川底にアシを補植、護岸約1kmを改修しました。それから3年間にわたり、私たちは仲間とともに、ホタルの幼虫2万匹の放流、メダカやタナゴの放流、月夜見の池への400本の蓮華の移植を行ってきました。昨年から、保存会や地元壮年会が中心となって、6月にはホタルの会、7～9月は蓮の華見会を開いています。また、今年10月には、念願の月夜見観月会を予定して準備を進めております。

（月夜見の池保存会 鈴木照王）



日本山岳会福井支部

里山には落葉樹が多いため、早春には山桜やこぶし、林床にはカタクリや二輪草などが咲き、初夏には新緑、夏は蝉時雨、秋には栗やドングリ、そして紅葉、豊富なキノコなど、季節によって変化に富んだ様相を呈しています。このような環境が、自然に感動し、これを愛する日本人の国民性をも育ててきました。

また、雑木林は多様な生物に生きる糧を与えます。雑木林の林床は落ち葉が積み重なり、さらに、たくさんの根でスponジ状になり、水を蓄え、土の崩壊を防ぎ、雪を蓄え



水源となり、里山から出る養分の多い水は漁業にも良いことが証明されています。

しかし、現在里山は、高度成長期を境に荒廃しています。われわれは、そんな荒廃した「里山の再生」をテーマとして掲げ、越前町の町有地を借り上げて植樹をしました。

私が森づくりを提唱したのは、一志治夫著「魂の森を行け」という本を読んで大きな感動を受けたことに始まりました。本著は、植物生態学者の宮脇昭氏の活動について書かれたノンフィクションです。宮脇氏は、その土地その土地の滞在自然植生を調べ、潜在植生の木群を中心にその森を構成している多数の樹種の「混植、密植型植樹」を提唱し、自ら先頭に立ち実践してきました。その活動は日本国内にとどまらず、広くマレーシアや中国本土にまで及んでいます。

われわれの森づくりのテーマは「里山の再生、そして持続可能な自然との共生をして生きてきた祖先の知恵に学び、これを受け継いでいくこと」です。



（日本山岳会福井支部 宮本数男）



未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと 第60回 全国植樹祭 2009ふくい

開催日

6/7(日)

式典会場

福井市一乗谷朝倉氏遺跡

全国植樹祭とは…

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に天皇皇后両陛下ご臨席のもと、(社)国土緑化推進機構と開催県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事で、昭和25年に山梨県で第1回が開催され、これ以後毎年行われています。

福井県においては、昭和37年に丸岡町で第13回大会が開催されて以来、47年ぶり2回目の開催となります。

地域会場紹介

- 式典にご応募された方も、地域会場にご参加いただけます。
- 記念式典や記念植樹のほか、その地域の特色を活かした体験型イベントを開催

丹南会場 越前町

福井総合植物園「プラントピア朝日」

園内随所に、園芸や生き物観察などのコーナーを設け、自然体験ツアーを行います。



福井市

式典会場
一乗谷朝倉氏遺跡

永平寺町

勝山市

大野市

あわら市

鯖江市

越前市

池田町

南越前町

敦賀市

美浜町

若狭町

高浜町

小浜市

おおい町

坂井会場 坂井市

たけくらべ広場

参加者が木片からオリジナルのウッドボードを作成し、会場近くを流れる竹田川で「ウッドレース」を行います。



奥越会場 大野市

越前おおの結ステーション

亀山を利用したフットバス体験会を行い、亀山の歴史や文化を学びながら自然観察を行います。



嶺南会場 若狭町

縄文ロマンパーク

火おこしや勾玉づくり体験など、縄文時代の生活を実際に体験します。



みんなで県民運動に取り組もう!!

植樹祭をきっかけに、ふくいの「元気な森 元気なふるさと」を次の世代に引き継いでいくため、身近なところから取り組める3つの県民運動を推進しています。

「健康長寿ふくい」の 自然を知り、伝えよう

身近なところにある山や森に入ってみましょう



フットバス体験会

フットバス(森の中を歩く小径)、林道ウォークや林道マラソンなどの自然体験会に参加しましょう



林道ウォーク

元気な森をつくろう

県産材を使った木製品を積極的に使いましょう



親子木工教室

森林ボランティア活動に参加し、ふるさとの森づくりに参加しましょう



植樹体験会

花と緑にあふれる ふるさとをつくろう

自治会やボランティア団体等の花の植栽活動に参加しましょう



花の寄せ植え講座

玄関やベランダなどに花を飾りましょう



クリーンアップ&フラワー大作戦

お問い合わせ先

第60回全国植樹祭福井県実行委員会事務局 (福井県 農林水産部 県産材活用課 全国植樹祭室)
〒910-0005 福井市大手2-9-10 電気ビル5階 TEL.0776-20-0750 FAX.0776-20-0652

E-mail 60syokujusai@pref.fukui.lg.jp

ちょっと気になる 環境キーワード

4R、5R

ごみ減量化策として定着した 3R。3つの「R」とは廃棄物の排出抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再資源化 (Recycle:リサイクル) のことを言いますが、4つ目の「R」は「断る」 (Refuse:リフューズ) というもので、「レジ袋を断る」とか「過剰包装を断る」など、ゴミになるものを受け取らないという意味合いで。そのほか、「修理して大切に使う」 (Repair:リペア) や「適切に分別する」 (Refine:リファイン) などの「R」があります。

他の自治体の中には、4R、5R を推進しているところもありますが、福井県の環境基本計画では、Reduce には Refuse や Repair なども含まれ、Refine は Recycle に含まれると考え、3R としています。



2009 東安居 菜の花フェスタ 行こう !!

平成 21 年 4 月 12 日 (日) ~ 25 日 (土) 足羽川河川敷

地域住民の皆さんがあれぞれ手入れしてきた菜の花ロード。今年もその美しい春の景色に会いに行きませんか。昼は黄色く輝き、夜は灯りに浮かびあがる菜の花が、夢のような世界へといざなってくれることでしょう

12日 16:00 開会式典 (足羽川左岸河川敷)
点火セレモニー

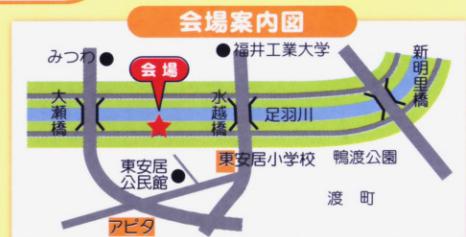
当時は、午後から、模擬店やコンサート、ミニ電車など、楽しい催し物がいろいろ！



☆菜の花ライトアップ☆

水銀灯・竹筒行灯・光柱
12日 (16:30 ~ 21:30)
13日 (18:30 ~ 21:30)
かがり火
12日 (16:30 ~ 21:00)
18・25日 (19:30 ~ 21:00)

《主 催》環境大臣賞受賞
《お問合せ先》福井市東安居公民館
TEL: 0776-35-9566



活 動紹介ページで、特に子どもたちを対象にした環境教育がとりあげられていますが、地道で大切なことだと思います。

環境基本計画の見直しなど、細かに記載されよい勉強になりました。自動車利用から公共交通機関や自転車利用への転換、「みどりの自転車活用」など大変よいアイデアだと思います。少子高齢化社会を迎え、時機に適した運動展開だと思います。車道の整備も大切ですが、自転車や歩行者に便利で安全な道路行政も必要かと思います。

いしいふくい食べきり運動に大賛成です。今まででは残ったものを持ち帰るのに抵抗がありました。これからはもうない精神を發揮して「腹八分」。エコとメタボ解消で一石二鳥です。エコおおみののんきよう第5号に対するたくさんのお葉書、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをお詫びいたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまのお便りをお待ちしております。

(大野市 Oさん)

(越前市 Mさん)

環

新 しい福井県環境基本計画がすばらしい内容で感動しました。実践に向けて努力しましょ。二酸化炭素削減の取組み、福井県が先頭になれますように。
(敦賀市 Yさん)

読者の窓

みんなのかんきよう第5号に対するたくさんのお葉書、お手紙ありがとうございました。紙面の関係上、全部を掲載できなかったことをお詫びいたします。今後とも、より良い情報紙とするため、みなさまのお便りをお待ちしております。

第60回全国植樹祭 2009ふくい関連イベント 「エコロジースタイル 人と木の物語」

会場: 福井県立歴史博物館 特別展示室

期間: 4月25日(土)~6月7日(日)

9:00~17:00(第2・4水曜日休館)

入館料: 一般 400円、大学・高校生 300円、

小・中学生・70才以上 200円

長い間、木とともに生きてきた日本人。エコの視点から木を使う意味を考え、木が持つ優れた特性や魅力をたっぷり紹介します。今のライフスタイルに「木使い生活」を取り入れてみませんか？

展示コーナー

- ・エコロジーと木
- ・この木・何の木？
- ・木の魅力
- ・木の可能性
- ・木の利用の歴史～エコロジーの視点から～
- ・ふくいで取組むエコロジー
(県内の木と環境に関わるエコ活動を紹介)



体験ブース

「体感！森の空気」「木目と音のふしぎ」

《お問合せ先》

福井県立歴史博物館

TEL: 0776-22-4675

URL: <http://www.pref.fukui.jp/muse/Cul-Hist/>

チャレンジ!! 環境クイズ

今回は「環境ふくい県民運動推進大会の記念講演の内容」からの出題です。全問正解めざしてチャレンジしてみてくださいね。御応募お待ちしております！

第1問かつて福井県にも生息し、県鳥だったこともある鳥は？

- ①トキ
- ②タンチョウ
- ③コウノトリ

第2問世界で絶滅の恐れがある動物の種数について、その割合が最も高いのは？

- ①両生類
- ②鳥類
- ③爬虫類

第3問田畠氏が提案された、地域に生き物を呼び戻すために私たちにできる3つのポイントは？（3つすべてをお書きください）

環境クイズ応募要領

方 法／答えを官製ハガキに記入の上、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、性別および本紙の感想を書いて、当協議会まで郵送してください。

締切日／平成21年5月31日（当日消印有効）

全問正解者の中から抽選で5名の方に、図書カードをお送りいたします。

[応募先] 〒910-8580

福井県庁内 環境ふくい推進協議会

前回解答

- 第1問 ② 県民の手で守り育てる美しい福井の環境
- 第2問 ③ 10
- 第3問 紙面に回答がなかったため全員正解とさせていただきます。

環境クイズプレゼントの当選者発表は、発送をもってかえさせていただきます。

環境ふくい推進協議会 会員募集!!

環境ふくい推進協議会では、隨時会員を募集しています。環境問題に関心のある方、本紙『みんなのかんきょう』を読みたい方、当協議会主催行事等の情報を知りたい方は、ぜひご入会ください。お待ちしております！

《年会費》個人会員： 500円

企業会員： 10,000円

（1口以上何口でも可）

団体会員：無料

《申込み・お問合せ先》

環境ふくい推進協議会事務局（福井県環境政策課内）

TEL：0776-20-0301

編 集 後 記

春風が心地よい季節。草花や動物も生き生きとはじめ、春のよろこびに溢れているようです。野外でのレジャーに出かける機会も増えますが、ゴミは必ず持ち帰り、来た時よりも美しく！を心がけましょう。

福井県からのお知らせ

太陽光発電補助制度が始まります！！

この春から、ご自身の居住する住宅に設置する太陽光発電設備の設置費用に対し補助が受けられます。地球温暖化防止への貢献として、この機会にぜひ、設置をお考えください。

●募集開始：平成21年4月1日（水）

●申請窓口：福井県地球温暖化防止活動推進センター（エコプランふくい）

	補助額	備 考
国（J-P E C）	70,000円／kW (10kW未満のシステムを対象)	合計 118,000円／kW
県	36,000円／kW (上限4kW)	一般的な設置費用
市町	12,000円／kW以上 (上限4kW)	(700,000円)の約17%

- ・市町における補助制度は、当面、福井市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、美浜町、あおい町が対象です。
- ・その他の市町については、年度途中からの募集開始となりますので、詳細は各市町窓口へお問合せください。
- ・対象となるシステムは、国（国の委託機関含む）が定める交付規定の要件と同じです。
- ・対象となるシステムは、平成21年4月1日以降の着工分からです。
- ・国、県、市町からの補助金を、重複して受けることができます。

《お問合せ先》

福井県環境政策課 エコライフ推進グループ

T E L : 0776-20-0302



環境ふくいCO₂削減貢献事業を開始します！

近年、県民や企業のみなさんの地球温暖化防止対策、環境保全意識の高まりから、カーボン・オフセットなどを始めとして、環境保全活動やCO₂削減に貢献する活動に何らかの支援や資金提供をしたい、という動きが増加しています。これらの支援の受け皿として、提供される資金を県内で行う環境貢献活動に充てる本県独自のしくみをつくりました。

今後、環境展や地域のイベント、ホームページなどで積極的にPRしていきます。ブース等で募金活動などを見かけられましたら、ぜひ御参加ください。環境貢献に興味のある企業の方の御参加もお待ちしております！

★事業のしくみ★

- ①県民や企業から、カーボン・オフセットの考え方に基づいた資金の提供など、環境貢献活動支援のための資金を提供いただきます。
- ②提供される資金は、県内のCO₂削減貢献活動（例えば、植林や太陽光発電設備設置等）へ活用し、本県の地球温暖化防止活動の促進へとつなげます。
- ③県は、事業参加者が実施する環境活動、および支援先となる県内のCO₂削減貢献活動を積極的に広報・PRすることで、参加者に対するインセンティブと、資金の流れについての透明性を確保します。

↓まずはこちらを御覧ください

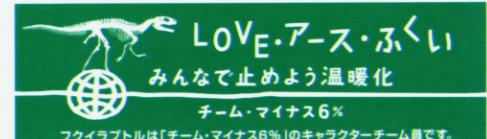
●環境政策課HP

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kankyou/index.html>

《お問合せ先》

福井県環境政策課 エコライフ推進グループ

T E L : 0776-20-0302



フライブルトルは「チーム・マイナス6%」のキャラクターチーム員です。

この情報紙は再生紙を使用しています